

別表Ⅰ 文学研究科
歴史文化専攻

		科 目 名	単位
博士前期課程	共通科目	京都の歴史・文化研究Ⅰ	2
		京都の歴史・文化研究Ⅱ	2
		比較文化論Ⅰ	2
		比較文化論Ⅱ	2
		文化交流史論Ⅰ	2
		文化交流史論Ⅱ	2
		応用言語学研究Ⅰ	2
		応用言語学研究Ⅱ	2
		歴史学・歴史遺産学研究方法論Ⅰ	2
		歴史学・歴史遺産学研究方法論Ⅱ	2
		日本言語文化研究Ⅰ	2
		日本言語文化研究Ⅱ	2
	日本歴史文化分野	日本史研究Ⅰ(古代)	2
		日本史研究Ⅱ(古代)	2
		日本史研究Ⅲ(中・近世)	2
		日本史研究Ⅳ(中・近世)	2
		日本史研究Ⅴ(近・現代)	2
		日本史研究Ⅵ(近・現代)	2
		日本史研究Ⅶ(女性史)	2
		日本史研究Ⅷ(女性史)	2
		日本史研究Ⅸ(古文書)	2
		日本史研究Ⅹ(古文書)	2
日本史研究ⅩⅠ(史料講読)		2	
日本史研究ⅩⅡ(史料講読)		2	
日本文化研究Ⅰ(古典文学)		2	
日本文化研究Ⅱ(古典文学)		2	
日本文化研究Ⅲ(古典文学)		2	
日本文化研究Ⅳ(古典文学)		2	
日本文化研究Ⅴ(近現代文学)		2	
日本文化研究Ⅵ(近現代文学)		2	
日本文化研究Ⅶ(日本語)		2	
日本文化研究Ⅷ(日本語)		2	
日本文化研究Ⅸ(日本語教育)	2		
日本文化研究Ⅹ(日本語教育)	2		
日本文化研究ⅩⅠ(漢字文化論)	2		
日本文化研究ⅩⅡ(漢字文化論)	2		
日本文化研究ⅩⅢ(かな文化論)	2		
日本文化研究ⅩⅣ(かな文化論)	2		
日本文化演習Ⅰ(漢字書法)	2		
日本文化演習Ⅱ(漢字書法)	2		
日本文化演習Ⅲ(かな書法)	2		
日本文化演習Ⅳ(かな書法)	2		
外国歴史文化分野	東洋史研究Ⅰ(政治社会)	2	
	東洋史研究Ⅱ(政治社会)	2	
	東洋史研究Ⅲ(文化)	2	
	東洋史研究Ⅳ(文化)	2	
	東洋史研究Ⅴ(女性史)	2	
	東洋史研究Ⅵ(女性史)	2	
	東洋史研究Ⅶ(史料講読)	2	
	東洋史研究Ⅷ(史料講読)	2	
	西洋史研究Ⅰ(中・近世)	2	
	西洋史研究Ⅱ(中・近世)	2	
	西洋史研究Ⅲ(近代)	2	
	西洋史研究Ⅳ(近代)	2	
	西洋史研究Ⅴ(女性史)	2	
	西洋史研究Ⅵ(女性史)	2	
	西洋史研究Ⅶ(史料講読)	2	
	西洋史研究Ⅷ(史料講読)	2	

歴史遺産分野	歴史遺産研究Ⅰ(考古学)	2		
	歴史遺産研究Ⅱ(考古学)	2		
	歴史遺産研究Ⅲ(古文書・史料学)	2		
	歴史遺産研究Ⅳ(古文書・史料学)	2		
	歴史遺産研究Ⅴ(美術史学)	2		
	歴史遺産研究Ⅵ(美術史学)	2		
	歴史遺産研究Ⅶ(遺産修復・整備研究)	2		
	歴史遺産研究Ⅷ(遺産修復・整備研究)	2		
	歴史遺産研究Ⅸ(景観・建築遺産研究)	2		
	歴史遺産研究Ⅹ(景観・建築遺産研究)	2		
	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ	2 2 2 2		
		前期課程の修了要件:特別研究8単位のほか、22単位以上、合計30単位以上を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すること。ただし、専攻する分野から8単位以上を修得すること。		
		科目名		単位
		日本史分野	日本古代社会文化論特殊演習	4
日本中世社会文化論特殊演習	4			
日本近世社会文化論特殊演習	4			
日本近代社会文化論特殊演習	4			
日本女性史特殊演習	4			
歴史資料学特殊演習Ⅰ(古文書学)	4			
歴史資料学特殊演習Ⅱ(考古学)	4			
歴史資料学特殊演習Ⅲ(美術史学)	4			
東洋史分野	アジア社会文化論特殊演習	4		
	アジア女性史特殊演習	4		
		4		
西洋史分野	ヨーロッパ社会文化論特殊演習	4		
	ヨーロッパ女性史特殊演習	4		
		4		
特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	4 4 4			
	後期課程の修了要件:特別研究12単位のほか、演習科目4単位以上、合計16単位以上を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すること。			

別表Ⅱ 現代ビジネス研究科
マネジメント専攻

修士課程		科 目 名	単位
	共通科目	研究の方法と倫理Ⅰ（研究法）	2
		研究の方法と倫理Ⅱ（情報とセキュリティ）	2
		ケーススタディ	2
		インターンシップ	2
	企業マネジメント領域	経営戦略特論	2
		経営組織特論	2
		経営管理特論	2
		マーケティング特論	2
		ファイナンス特論	2
		イノベーションマネジメント特論	2
		会計学特論Ⅰ	2
		会計学特論Ⅱ	2
		税法特論Ⅰ	2
		税法特論Ⅱ	2
		国際経済特論	2
		国際金融特論	2
		国際経営特論	2
		国際観光特論	2
	公共マネジメント領域	地域経済特論	2
		公共政策特論	2
		自治体経営特論	2
		財政学特論	2
		文化政策特論	2
		公共施設マネジメント特論	2
		都市空間マネジメント特論	2
		地域資源特論	2
		医療マネジメント特論	2
	研究指導	課題研究Ⅰ	2
		課題研究Ⅱ	2
		課題研究Ⅲ	2
		課題研究Ⅳ	2
	修了要件:共通科目から必修4単位、研究指導から必修8単位に加え、共通科目、企業マネジメント領域および公共マネジメント領域から選択必修18単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、学位論文審査および最終試験に合格すること。		

博士 後期課程	企業 マネジ メント 領域	経営戦略特殊研究	2
		経営組織特殊研究	2
		経営管理特殊研究	2
		ファイナンス特殊研究	2
		国際経済特殊研究	2
		国際金融特殊研究	2
	公共 マネジ メント 領域	地域経済特殊研究	2
		財政学特殊研究	2
		文化政策特殊研究	2
		公共施設マネジメント特殊研究	2
		都市空間マネジメント特殊研究	2
		医療マネジメント特殊研究	2
	修了要件 企業マネジメント領域および公共マネジメント領域から4単位以上を修得し、研究指導を担当する教員による必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、学位論文審査および最終試験に合格すること。		

現代ビジネス研究科博士後期課程設置に伴い、別表Ⅱ－2は廃止する。

別表Ⅲ 看護学研究科

看護学専攻

科 目 名			単 位
博士前期課程	共通基礎科目 A	* 看護理論	2
		* 看護研究	2
		* 看護教育論	2
		* コンサルテーション論	2
		* 看護管理論	2
		* 看護政策論	2
		* 看護倫理論	2
	共通基礎科目 B	* フィジカルアセスメント	2
		* 臨床薬理学	2
		* 病態生理学	2
	専門教育科目	〈実践看護基礎学〉 実践看護基礎学特論	2
		看護技術学	2
		実践看護基礎学演習Ⅰ	2
		実践看護基礎学演習Ⅱ	2
		実践看護基礎学演習Ⅲ	2
		実践看護基礎学特別研究	10
		〈実践看護応用学〉 * 実践看護応用学特論Ⅰ(老年)	2
		実践看護応用学特論Ⅱ(成人・精神)	2
		* 実践看護応用学特論Ⅲ(老年)	2
		* 実践看護応用学特論Ⅳ(精神)	2
		* 実践看護応用学特論Ⅴ(精神)	2
		クリティカル看護学	2
		生活習慣系看護学	2
		* 精神看護学Ⅰ	2
		* 精神看護学Ⅱ	2
		* 精神看護学Ⅲ	2
		* 精神看護学Ⅳ	2
		実践看護応用学演習Ⅰ(成人・精神)	2
		実践看護応用学演習Ⅱ(成人・精神)	2
		実践看護応用学演習Ⅲ(成人・精神)	2
		実践看護応用学特別研究	10
		* 老年看護学Ⅰ	2
		* 老年看護学Ⅱ	2
		* 老年看護学Ⅲ	2
		* 実践看護応用学演習Ⅰ(老年)	2
		* 実践看護応用学演習Ⅱ(老年)	2
		* 実践看護応用学演習Ⅰ—1(精神)	2
		* 実践看護応用学演習Ⅰ—2(老年)	2
		* 実践看護応用学課題研究(老年・精神)	8
		* 実践看護応用学実習(老年)	10
		* 実践看護応用学実習Ⅰ(精神)	5
		* 実践看護応用学実習Ⅱ—1(精神)	5
		* 実践看護応用学実習Ⅱ—2(精神)	5

〈次世代育成看護学〉	
次世代育成看護学特論Ⅰ（小児）	2
* 次世代育成看護学特論Ⅱ（周産期）	2
小児看護学	2
* 周産期看護学	2
* 女性健康看護学	2
次世代育成看護学演習Ⅰ（小児）	2
次世代育成看護学演習Ⅱ（小児）	2
次世代育成看護学演習Ⅲ（小児）	2
* 次世代育成看護学演習Ⅰ（周産期）	2
* 次世代育成看護学演習Ⅱ（周産期）	2
* 次世代育成看護学演習Ⅲ（周産期）	2
* 次世代育成看護学演習Ⅳ（周産期）	2
* 次世代育成看護学課題研究（周産期）	8
次世代育成看護学特別研究	10
* 次世代育成看護学実習Ⅰ（周産期）	6
* 次世代育成看護学実習Ⅱ（周産期）	4
〈広域看護学〉	
国際看護学特論	2
地域看護学特論	2
看護教育学特論	2
看護管理学特論	2
国際看護学演習Ⅰ	2
国際看護学演習Ⅱ	2
国際看護学演習Ⅲ	2
地域看護学演習Ⅰ	2
地域看護学演習Ⅱ	2
地域看護学演習Ⅲ	2
看護教育学演習Ⅰ	2
看護教育学演習Ⅱ	2
看護教育学演習Ⅲ	2
看護管理学演習Ⅰ	2
看護管理学演習Ⅱ	2
看護管理学演習Ⅲ	2
広域看護学特別研究	10
修了要件および履修方法 【修了要件】 2つのコースを設定し、それぞれの卒業要件および履修方法は、次のとおりとする。 【研究コース】 共通基礎科目Aおよび専攻分野以外の専門教育科目の講義科目から合計10単位以上、専攻分野の専門教育科目の講義科目4単位以上および演習科目6単位、特別研究10単位、合計30単位以上を修得し、修士論文を提出し論文審査および最終試験で合格すること。 【専門看護師コース】 共通基礎科目Aの選択必修8単位以上、共通基礎科目Bの必修6単位、専攻分野の専門教育科目の講義科目および演習科目で合計14単位、実習10単位、課題研究8単位、合計46単位以上を修得し、専門領域の課題についての修士論文を提出し、その審査および最終試験で合格すること。 注）表中「＊」は専門看護師養成課程の科目を示す。	

博士 後期課程	科目名		単位
	共通科目	看護実践研究方法論	2
		看護実践イノベーション論	2
		ヘルスケア組織・政策論	2
		看護キャリア教育開発論	2
	専門科目	実践看護基礎学特論演習	2
		実践看護応用学特論演習	2
		次世代育成看護学特論演習	2
		看護マネジメント学特論演習	2
	研 特 究 別	特別研究Ⅰ	4
		特別研究Ⅱ	4
	修了要件および履修方法 共通科目から4単位以上(必修2単位を含む)、専門科目から2単位、特別研究を8単位(必修)、合計14単位以上修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること。		

別表Ⅳ 健康科学研究科
健康科学専攻(修士課程)

科 目 名		単位
共通基礎科目	健康科学特論Ⅰ	2
	健康科学特論Ⅱ	2
	研究倫理学特論	2
	健康科学研究法特論Ⅰ	2
	健康科学研究法特論Ⅱ	2
	心理統計学特論	2
	脳科学特論	2
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2
	精神薬理学特論	2
	生活支援学特論	2
	運動機能学特論	2
	発達障害特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
理学療法学領域	(a群)	
	生活機能障害理学療法学特論Ⅰ	2
	生活機能障害理学療法学特論Ⅱ	2
	(b群)	
	運動器障害理学療法学特論Ⅰ	2
	運動器障害理学療法学特論Ⅱ	2
	(c群)	
	脳機能障害理学療法学特論Ⅰ	2
	脳機能障害理学療法学特論Ⅱ	2
心理学領域	(a群)	
	発達心理学特論	2
	認知心理学特論	2
	学習・行動分析学特論	2
	(b群)	
	組織心理学特論	2
	社会心理学特論	2
	社会調査特別演習	2
	司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2
	産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2

臨床心理士特修領域	(a群)	
	臨床心理学特論	4
	臨床心理学面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	2
	臨床心理学面接特論Ⅱ	2
	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2
	臨床心理査定演習Ⅱ	2
	臨床心理基礎実習	2
	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	10
	臨床心理実習Ⅱ	1
	(b群)	
	分析心理学特論	2
	思春期臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	グループアプローチ特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2
演習研究	健康科学特別研究Ⅰ	2
	健康科学特別研究Ⅱ	6
	修了要件および履修方法 3つのコースを設定し、それぞれの卒業要件および履修方法は、次のとおりとする。 ○理学療法学コースは、共通基礎科目から必修4単位、選択必修を「健康科学特論Ⅱ」「健康科学研究法特論Ⅰ」を含む14単位以上(ただし、心理学領域で4単位まで代替可能とする)、理学療法学領域のa～c群いずれか1つの群から4単位、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。 ○心理学コースは、共通基礎科目から必修4単位、選択必修を「健康科学特論Ⅱ」を含む10単位以上、心理学領域から8単位以上、研究演習8単位、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。 ○臨床心理学コースは、共通基礎科目から必修4単位、選択必修4単位以上、心理学領域a・b群から各2単位以上、臨床心理士特修領域のa群から25単位、b群から2単位以上、研究演習8単位、合計47単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。	